

P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ

P4 年頭あいさつ

P5 青年部・女性部だより

P6 Information 商工会だより

P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ き ひと しょう こう にん
商きない工らす人びと **ふくしま商・工・人**

2020.1.1
Vol. 387



P2に掲載

川内村唯一のパン屋さん
地元の人が気軽に立ち寄れる店を！
川内村・株式会社小松屋 ベーカリーリヴィエール



P3に掲載

オーナーは薬剤師?!
健康と笑顔が溢れる町へ

三春町・カフェ・ブリキエヌ



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(f-wing@do-fukushima.or.jp)

県中・県南 三春町商工会

オーナーは薬剤師?! 健康と笑顔が溢れる町へ



カフェ・ブリキイヌ 代表 濱田 雅博氏

住所 〒963-7766 田村郡三春町中町4 中町二ノ蔵
連絡先 TEL 0247-61-6757
営業時間 日~土曜日 11:00~21:00(日曜は17:00まで)
土日祝日 8:00~11:00 モーニングタイム
ラストオーダーは閉店1時間前
Facebook、Instagram、「カフェ・ブリキイヌ」など公開
LINE@は上記QRをスキャンして下さい。



【事業所紹介】
平成29年4月、蔵を改装し「カフェ・ブリキイヌ」がOPENしました。若い仲間たちで作り上げ、毎日楽しく営業しております。目玉はなんといっても自慢の「ブリキナポリタン」。かつてお年寄りがこれほどパスタを食べた事があっただろうか!!と思うほど広い世代で大人気の特製ナポリタンです。料理一筋20年のマスターが、食材や味付けにこだわり、工夫を重ねるとても美味しい上に健康的で、誰でもペロリと食べられちゃいます☆口コミもあり週末はカフェ好きな方々が遠くからも来店下さい。地域のお年寄りにも元気いっぱいカフェに集まって欲しいという思いから「健康教室」を毎週開催したり、若者が集まる「恋活イベント」「ワイン会」等も定期開催しています。



【アメリカンノスタルジー】
食器や小物などところどころに郷愁を感じるのがお店のコンセプト。また、店内にある壁画デザインは遊び心を形にしたもので、何日もかけて手作りしたこだわりの作品。それらの謎を読み解く楽しみもあります。コーヒーや食事だけでなく、お店全体が一つの作品として楽しめるようにスタッフ一同で作り上げています。



【夢は福島県を「日本一健康な町にする」こと】
オーナーの濱田です。薬剤師として、大正3年から続く薬局を継ぎ13年が経ちました。医療も薬もどんどん進歩する一方、やはり「病気の予防は食事」という考えからカフェをOPENしました。福島県は生活習慣病が全国でもトップクラスに悪く、子供達は肥満傾向にあります。ダイエットカウンセラーや、薬剤師として仕事を続ける中でも「薬に頼り過ぎない」というお話をしていますが、カフェを始めてから、講演の依頼も沢山頂こうになり、さらにはカフェにお話を聴きにきてくれる方も増えてきました。まだまだ根強く残る3.11の「被災地フクシマ」のイメージ。我々が健康で元気であることでそのイメージを転換し魅力的な「福島」として全国、世界へ発信していけると信じています。

【今後の目標】
三春町は昔ながらのお菓子屋さんも多く、カフェブームによってさらにお店も増えてきています。ブリキイヌとしても土日限定のモーニングセットなどに加え、大人気スイーツ「ブリキコーヒープリン」などお土産販売も拡大したいと考えております。そして他の町からのお客様もファンになってくれるようなカフェになり、三春町をもっともっと楽しんでもらえるよう盛り上げていきたいです。

【商工会支援内容】
代表は、商工会青年部員で元々薬局を営んでおり、新たな試みとして飲食店を始めたいという内容が支援のきっかけでした。店舗出店については、当町の空き店舗事業を活用し町中心部に現存する「蔵」を再利用する形での出店となりました。代表の考える店内レイアウトに更なるアイデアや気づき、また自信を付けさせるためにも専門家派遣を通して店舗診断を実施。SNSによる来店客増加促進を図るために効果の上がる仕掛けづくりを行いました。
昨年度は、伴走型支援に併せて今まで店内で食している商品の外販売への動き掛けを行い自店商品PRや店舗PRを更に外へ向けての効果促進を行うべく「食のフェア」へ出店することで認知度アップ支援を行いました。
商工会主催のセミナー等にも積極的に参加することにより、今後新たな経営方針や経営計画を策定していく予定です。

浜通り 川内村商工会

川内村唯一のパン屋さん 地元の人が気軽に立ち寄れる店を!



株式会社小松屋 ベーカリーリヴィエール 店長 及川 秋奈氏

住所 〒979-1201 双葉郡川内村大字上川内字早渡11-33
連絡先 TEL 0240-23-7176
営業時間 10:00~17:00(休憩14:00~15:00)
定休日 水曜日、第1・第3・第5火曜日
URL https://www.instagram.com/bakery_riviere/?hl=ja

【事業所紹介】
焼きたて、あつあつの美味しいパンを川内村の人に届けたい。地元の人に親しまれる、あたたかいホッとできるお店作りを目指し、今年4月22日に開業しました。
地元川内村でパン屋を開くのが長年の夢でした。夢を叶えるべく製菓学校にて勉強をし、長野県軽井沢の老舗パン屋にて4年半ほど経験を積み川内村へ戻ってきました。地元で準備を進めていた矢先、東日本大震災・原発事故が発生、避難を余儀なくされました。地元での開業は考えられない程に先が見えない状況のなか、それでもパンから離れることはできず別な老舗パン屋に勤め経験を重ねることとなりました。



パン屋の夢を諦めきれない私の事を知ってか知らずか、父から「福島県原子力被災事業者事業再開等支援補助金」を使い川内村での開業をもう一度考えてみないかと話がありました。とても嬉しい反面、難しい決断ではありましたが、川内村に戻ってくる決意をしました。補助金は実際に申請から採択まで1年半程かかりましたが、パンの試作やお店の外観・内装など準備する事は沢山ありました。準備一つ一つが来店して下さるお客様のためと思うと楽しみながら続けられました。水がとてきれいで美味しい、そんな川内村の良さを伝えたいという思いもあり、フランス語で「川」の意味をもつリヴィエールを店名に決め、美味しさはもちろん、素材にこだわったパン作りをしています。
また、お客様にくつろいでもらえるよう、白を基調に木のぬくもりが感じられる店内にし、イートインスペースも設けました。おかげで開店して半年、私とお客様との会話が弾むことも増えました。経営の相談にのってくれる良き理解者であり、頼もしいパートナーの主人とともに、地元の人が気軽に立ち寄れるお店に少し近づけたのかなと実感しています。



【商工会の支援内容】
補助金を活用し、店舗の建設や製造設備の導入を行ったため、作成・準備をしなければいけない書類が多くなりました。経営計画など将来を見据えて考えなければいけない事もありますが、申請から実績報告までアドバイスをいただき、スムーズに書類準備を進めることができました。支援のおかげで、細々した開店の準備にも専念する事ができとても助かりました。
また、販売しているフランスパンやライ麦パンに合うワイン販売をしたいと考えており、相談にのって頂いているところです。酒税関係の準備を進めて、来年の夏ごろにはワイン販売を開始できるようにしたいです。



【今後の目標】
川内村の特産品「えごま」や「そば」を利用して、オリジナルパンの開発を進めていきたいと考えています。地元川内村の馴染みのお客様が増えつつあり、オリジナルパンを通して村外の方にも気軽に立ち寄れる店づくりをしていきたいです。お客様同士が交流し、集って頂けるようなお店が目標です。

ふくしまの商工業の再生を目指して

福島県商工会連合会 会長 轡田 倉治



令和二年の新春を迎え、謹んで年頭の御挨拶を申し上げます。

昨年十月の台風第十九号、二十五日の大雨により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。我が国経済は、米中貿易摩擦などによる海外経済減速の影響がありますが、企業の設備投資、公共投資等に支えられ、緩やかな回復基調を続けております。しかしながら、地方の中小・小規模事業者においては、過疎化や人口減少による消費の縮小、働き手不足や経営者の高齢化、後継者難など厳しい経営環境が続いております。また、消費税率の引上げ、軽減税率制度の導入、更には働き方改革など、新たな経営課題にも直面しております。本県においては、震災から八年が経過した今でも、多くの避難事業者は事業再開に至らず、風評被害の影響も依然として続いており、今回の台風第十九号等による浸水災害によって、事業経営の非常時を及ぼしております。

こうした中、昨年は復興・創生の取組みとして会員事業者の事業再開支援や原子力損害賠償に関わる要望等、会員事業者に寄り添った経営支援を強化し、真に頼りになる商工会として「ふくしまの商工業の再生を目指して」をスローガンに掲げ、各般の事業に取り組んで参りました。特に、オリンピックの県内開催を見据え、今後増えることが予想されるインバウンド対策支援「ふくしま小規模企業者等いきいき支援事業」を積極的に活用しての販路開拓支援を実施しました。十一月には、「知事を囲む商工会代表者会議」を開催して、地域総合経済団体、並びに小規模事業者支援機関としての役割を担う商工会として、台

風第十九号等被害に係る早期復旧・復興に向けた支援の強化、震災と原発事故の影響に対する県内事業者への支援の充実強化、中小・小規模事業者の持続的発展に向けた支援の強化、地域経済活性化のための商工会機能の充実強化について知事に要望しました。新しい年は、引続いて台風第十九号等被害に係る早期復旧・復興、復興・創生、風評払拭に取組み、中小・小規模事業者に寄り添った地域密着の支援機関として、会員事業者に対し、より一層きめ細かな伴走型支援を実施していかねばならないと考えております。そのためには、限りあるマンパワーをどう活かすか、組織の協体制の強化が求められております。新商工会々々シンポジウムをオンラインアップさせながら経営支援体制及び事務局体制の充実を目指します。巡回訪問（商工会は行きます、聞きま、提案します）はもとより、会員の皆様のニーズに応えるため、職員一人ひとりが支援能力の向上に努め、中小・小規模事業者への支援に努めて参ります。また、広域連携体制を強化し、効果的な企業支援に取組み、県内の産業に活力を取り戻すことができるよう、各般の事業を展開して参ります。

こうした厳しい時こそ地域の絆を大切に励ましあつて前進するものと思っております。八十八商工会と県連が丸となって、地域の復興・創生の中心的役割を担い、「信頼される商工会」になり、商工会を目指して参りますので、引き続き皆様方の一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早い復旧復興を願いますとともに商工会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい年となりますよう、心より「祈念申し上げます」。

青年部 だより

台風第19号被害に対する復旧ボランティア活動実施

令和元年10月12～13日に上陸した台風第19号によりもたらされた大雨によって、県内各地で河川が増水し堤防が決壊。広範囲で家屋等が浸水するなどの甚大な被害を受けました。当然、商工会員の自宅や事業所も例外ではなく、元の生活に戻るにはまだまだ多くの時間が必要となっております。

県青連では、少しでも復旧の一助となるべく、災害支援マニュアルに基づき被災した商工会青年部からの要請に応える形で、県内青年部員に対しボランティアの募集を行いました。

発災間もなく、また自らも被災している部員も多いにも関わらず、



集合写真(本宮市)



集合写真(安積町)

両日とも多くの方に参加して頂くことができ、10月17日に本宮市、10月18日には郡山市安積町で家具等の運び出しや清掃活動等のボランティア活動を実施することができました。

今回の活動は、被害の大きさから見れば小さな活動だったかもしれませんが、被災者を少しでも元気付けられることができていれば幸いです。



活動(本宮市)

女性部 だより

第21回商工会女性部全国大会in しまね 「八百万の神々集う縁の地 しまねによろこそ!!」

とき:令和元年10月29日(火)
場所:松江市「松江市総合体育館」

第21回商工会女性部全国大会inしまねは、島根県松江市「松江市総合体育館」において開催され、福島県からは33名が出席しました。

主張発表大会においては、テーマを「女性部活動と地域復興・まちづくり」～WelcomeでOMOTENASHI～と題し発表した山梨県(関東ブロック代表)の発表者(南都留中部商工会女性部・部長:河内正子さん)が最優秀賞となりました。外国人観光客に困った商店街のために英語を始めフランス語、タイ語などあらゆる言語の指差し単語表・パンフレットを作成した

内容で発表中は流暢な外国語で日本語に似た言葉との比較など身近に覚えやすいお話しをされました。

次回の商工会女性部全国大会の開催地は大分県別府市で令和2年10月28日(水)となります。



全国大会参加福島県内女性部長等の集合写真



オープニングアトラクション



最優秀賞受賞者(河内さん)と森全国連会長

夢と希望をつなぐための挑戦

福島県知事 内堀 雅雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。震災から間もなく九年を迎えようとしております。県民の皆様懸命な御努力と国内外からの温かい御支援により、福島県は復興の歩みを着実に進めてまいりました。

避難地域においては、全町避難が続く大熊町の二部地域での避難指示解除や、県内原発の全基廃炉が実現するなど、新たなステージを迎えております。また、農産物の輸出拡大を始め、日本酒など県産品の国内外での高い評価、若い世代を中心とした移住世帯の増加など、明るい話題も増えてまいりました。その一方で、今もなお、多くの方が避難生活を続けておられるほか、各方面で根強く残る風評に加え、少子高齢化等の構造的な要因による急激な人口減少さらには、台風第十九号等の大雨による甚大な被害が発生し、本県は、二重・三重の困難を抱えております。県といたしましては、引き続き、危機意識とスピード感を持って、これらの重い課題からの復興と人口減少対策を始めとする地方創生に取り組んでまいり、決意であります。

まず、避難地域の復興・再生につきましては、被災者の生活再建と生業の再生、医療・介護サービス提供体制の構築を始め、廃炉・汚染水対策、鳥獣被害対策など、二人でも多くの方に安心して帰還いただけるよう生活環境の整備を進めてまいります。また、台風と大雨災害からの復興につきましても、被災箇所の復旧に全力を挙げ、被災された方々が再び前を向いて歩み出せるよう、引き続ききめ細かく対応してまいります。

さらに、浜通りの産業基盤や雇用回復を図るべく進めている国家プロジェクト「福島イノベーション・コースト構想」の効果を全県に波及させるとともに、農林水産業や商工業などの既存産業についても、人材の確保・育成を始めとした総合的な支援に努めてまいります。次に、人口減少対策につきましては、子育て世代や若者が安定的に生活できる雇用の場を確保するなど、安心して結婚・出産・子育てができる環境を充実させることが重要です。引き続き、保育の受け皿確保や医療・福祉・介護の人材確保・育成、全国に誇れる健康長寿県を目指す取組を進めていくほか、定住・二地域居住を始め、本県が持つ可能性、魅力、強みをいかした「福島ならでは」の地方創生を推進するなど、幅広く取組を展開してまいります。

今年の七月には、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。競技会場となる県営あづま球場の改修が終わり、聖火リレーのルートが決定するなど、開催に向けた機運が層の盛り上がりを見せております。皆様と共に、これまでの御支援に対する感謝の思いと、復興が進んでいる福島への誇りと魅力を感じて、思いと発信できるように、関係の方々を合わせて準備を進めてまいります。

また、今年には復興・創生期間の最終年度を迎えます。これからは常に危機意識を持って職務に臨み、県民の皆様、そして国内外の福島に心を寄せてくださる全ての皆様と「共働」しながら、「ふくしまプライド」を胸に、次の世代に夢と希望をつないでけるよう全力で挑戦を続けてまいりますので、今後とも二層の御支援御協力をお願い申し上げます。新年の御挨拶といたします。

賑わい創出と地域商店の 存続・発展に全力



農産物直売所（あだたらの里直売所）

北に縦断する国道四号線沿線に大型ショッピングセンターと村営の直売所と広場ができてからは、流入人口も増え、村のプラットホームとして大きな期待が広がっています。全国的に人口減少社会に突入する中で、珍しく人口増加、年少人口が増えている自治体としても注目を集めています。

賑わい創出「夏まつり」に師走祭
直売所は四号線と県道本宮土湯温泉線の交差点脇の大玉村ふれあい広場敷



イルミネーション事業

待ちから攻めに
村内の事業所は九割以上が小規模事業所です。特に大規模店やコンビニの進出で小売業の経営は厳しい環境にあります。廃業も目立ってきました。地域の商



空き店舗対策事業「おたまたまマルシェ」

民・高齢者を支える仕組みが重要です。女性部の取り組みに大きな期待が寄せられました。

古くから稲作農業が中心の村ですが、北に縦断する国道四号線沿線に大型ショッピングセンターと村営の直売所と広場ができてからは、流入人口も増え、村のプラットホームとして大きな期待が広がっています。全国的に人口減少社会に突入する中で、珍しく人口増加、年少人口が増えている自治体としても注目を集めています。



大玉村商工会の齋藤泉です。

村民出資による株式会社設立
大玉村の玄関口として注目を集める農産物直売所（あだたらの里直売所）は、平成十九年にオープンし村が直接経営をしていましたが、平成二十九年秋に村民株式会社が設立され、翌年一月から村の指定管理により運営を委託されました。この株式会社は、出資金が一人三万円、二百二十人の村民と村が全体の三分の二の出資金を保有する珍しい会社です。直売所は株式会社設立される前に、同一敷地内に新築され、従来の施設は、村内の米や野菜をふんだんに使った「お食事処」としてリニューアルされ、連日賑わいを見せております。

地内にあります。この場所では、大玉村商工会とあだたらの里エフエフ実行委員会が毎年「おたまたま夏まつり」を行っています。村内事業者を中心にしたイベントブースや夜空に花開く花火大会、まつり前日には、商工会青年部主催による生ビールまつりの実施など、大玉村を内外にアピールする場所にもなっています。昨年からは商工会青年部が冬季間の村民の交流と集客をめざし師走祭を始めました。広場全体に飾り付けられたイルミネーションを点灯し、幼稚園児が作成した手づくりキャンドルを灯してライブや、コーラスで冬の新しい賑わいづくりにチャレンジしています。

店が無くなることは住民、特に高齢者などの生活やコミュニケーションの喪失に影響します。「店の本来の機能と同時に住民の社会生活における「コミュニティを守る」ためにも商店の存続は重要な課題です。様々な形態でその機能を維持するための試みも生まれようとしています。

県北商工会女性部事業の環として大玉村商工会女性部も、空き店舗活用を考える手始めとして、初めて「おたまたまマルシェ」を開きました。女性部が環境推進活動として行っているEM石鹸や商工会が村おし事業として開発した地元で生産された原材料で作った味噌やきな粉、女性部員の手作りの商品をカフェ形式で販売いたしました。店に近いところの方々をはじめ、店には多くの村民の方が訪ねてくれました。「またやろうね」「今度はうちの方で」と会員の声がありました。商工会役員や村の職員も顔を出してくれました。身近なところで地域住民・高齢者を支える仕組みが重要です。女性部の取り組みに大きな期待が寄せられました。

会員事業所の経営支援強化と 後継者対策に向けて



裏磐梯



北塩原村商工会の赤城明です。北塩原村は会津地方の北部に位置し、今から百三十二年前の磐梯山の噴火は、近代日本の火山活動での災害では最も多くの死者を出した災害であった反面、優美な表磐梯とは対照的に荒々しくも美しい磐梯山の噴火の爪痕や、松原湖、様々な色を見せる五色沼など多くの観光資源を生み出すなどの恩恵を受け、村の大半が磐梯朝日国立公園に属しており、北塩原村、特に裏磐梯地域は県内でも有数の観光地となっております。



会津山塩ラーメン



会津山塩

また、当村は山形県米沢市とも隣接しており、古くは旧米沢会津街道での交流が盛んに行われており、会津と米沢を結ぶ重要な街道でもあり、今でも山城跡が多くあるなど重要な街道であったことが解る史跡等も数多く残っているエリアとなっております。

創業及び後継者対策の取組について
当商工会が一番取り組んでいる事業として、村内小規模事業所の約半数に後継者がおらず、その事業主の約七割が六十五歳以上の高齢者となっている状況の中、該当事業所の巡回訪問を行い、今後の事業展開や後継者対策、廃業した際の建物等の取扱いなど聞き取りで調査を実施し、現在の事業を今後どのように進めるか、廃業した際は事業で使用していた建物等をどうするかなどを聞き取り調査した内容により、その事業所が他の創業希望者に事業を譲渡する為の支援や、使用しなくなった建物を他の創業希望者へ紹介を行う為の支援を行うことで、村内で創業される方を促す為の支援を積極的に実施しております。その為、長年に渡り実施してきたイベントの返上や事業等の取り

さらに、当商工会が支援して生まれた大塩温泉の温泉水を煮詰めて出来上がった「会津山塩」は海水から採れる塩と比較してもミネラル成分が多く、様々な食材の味を生かせる為にお菓子や料理などにもご利用頂き多くの物産品を生み出し、

村番の特産品として定着しております。その中でも「会津山塩」を使用した「会津山塩ラーメン」が北塩原村で大人気となっており、県内外からの観光客だけでなく、村民のソウルフードとして定着しつつあります。



ワカサギ釣り

やめを行うことで、村内事業所の支援を集中的に実施することが出来る体制を整えつつあります。

北塩原村は春夏秋冬様々な楽しみがあります。春は新緑の裏磐梯をサイクリングやウォーキング、夏は松原湖等でのバス釣りや松原湖や曾原湖周辺でのキャンプ、秋は紅葉日本にも選ばれた裏磐梯の紅葉の中を散策、冬はスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツやワカサギ釣りなど、多くの楽しみが満載の北塩原村に是非お越しください。

ムダを省いたオールインワン補償で、“様々なリスク”から事業者をお守りします!

商工会の

ビジネス総合保険

第三者に対する損害賠償

製造物責任などの、業務上の偶然な事故による財物損壊等の賠償責任を補償!



万が一の休業損害

偶然な事故による休業損害を補償!



財物の損害

偶然な事故による商品等の損害を補償!



商工会の
ビジネス総合保険
5つの特長

- 商工会のスケールメリットを生かした割安な保険料水準!
- 包括的な補償で手続きがとっても簡単!
- 保険期間途中での変更手続きが不要で、とっても安心!
- 業種に応じた幅広い補償で貴社を守ります。
- リコール費用、情報漏えい補償など時代に求められる特約を用意。

今までの保険



各種保険にバラバラに加入していると、補償の漏れやダブりが不安…。

商工会のビジネス総合保険なら



- さまざまな賠償リスクをスッキリまとめて補償!
- 複数の事業所も1つにまとめて補償! 重複もありません。

制度運営 全国商工会連合会 関係先 各地商工会 ビジネス総合保険 検索
引受保険会社(中小企業PL保険等既存取引制度) 東京海上日動火災保険株式会社 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 三井住友海上火災保険株式会社
○この広告は、本制度の概要を示したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項のご説明」をご覧ください。詳しくは引受保険会社の約款、パンフレットに従います。

事業者の皆様へ

事業所の「災害」への備えは十分ですか?

～中小企業・小規模事業者の被災時に事業継続を支援する共済～

休業対応 応援共済

火災共済または火災保険とセットでのご加入をお願いします

共済金のお支払い対象となる主な災害



従業員1名あたり

日額1万円の補償をおすすめします

たとえば…従業員3名の場合、日額3万円まで加入いただけます。

おすすめプラン

共済金支払例

日額1万円

全損約定日数150日

一部損約定日数60日

全損



火災で建物が全焼、店舗を再建し半年後に事業再開。

150万円のお支払い

一部損



地震で店舗が壊れ、店舗が復旧するまでに60日間休業し事業を再開。

60万円のお支払い

共済掛金(年間)

耐火建物(a級)

3,740円

非耐火建物(b級)

5,135円

お問い合わせ・お申し込みは、福島県火災共済協同組合または商工会へ



News Clipは循環型社会の現実を目指して、環境に配慮した植物油インキと再生紙を使用しています。